

企業でのインターシップ活動を発表する大学生＝坂井市役所



企業留学、成果を報告 坂井 県外6学生、1ヵ月インターン

坂井市内の3企業で約1ヵ月インターシップ(就業体験)をした県外の大学生6人による最終報告会がこのほど、市役所で行われた。学生は広報や企業イメージ発信などの活動や成果を発表した。

市が東京のNPO法人のプログラム「地域ベンチャー留学」を採用して行ったインターシップ事業。神奈川県、広島県、京都府などの大学生を、ITや繊維関係などの3社が8月17日から約1ヵ月間受け入れた。学生は市内に滞在し企業に通った。

織ネームの「松川レピヤン」(丸岡町)で、業務を

体験した観啓大(広島県)の林李さん(20)と三吉泉さん(19)は、広報業務の1環でホームページに掲載するために、従業員にインタビューしたことなどを発表。さらに「従業員はみな家族という社風に触れて、

大変勉強になった」と学んだことを披露した。6人には織ネーム製のインターシップ修了証が各社から手渡された。(加藤佳紀)